



平成29年5月9日

各 位

上場会社名 矢作建設工業株式会社  
 代表者名 取締役社長 高柳 充広  
 (コード番号:1870 東証1部・名証1部)  
 本社所在地 名古屋市東区葵三丁目19番7号  
 問合せ先責任者 執行役員 経理部長 川口 亮  
 TEL 052-935-2348

## IR資料 当社グループの経営現況について

### 平成29年3月期 連結決算

当社グループの平成29年3月期連結決算の概要と経営現況を以下の通りまとめましたので、ご参照下さい。

#### I. 連結損益の状況について

##### □ 連結経営成績

(単位:百万円)

	H29.3実績	H28.3実績	増減額	増減率	H30.3 通期予想
売上高	89,263	88,758	504	0.6%	90,000
完成工事高	68,689	71,092	▲ 2,402	▲ 3.4%	
兼業事業売上高	20,574	17,666	2,907	16.5%	
売上総利益	16,049	15,875	174	1.1%	
(売上総利益率)	(18.0%)	(17.9%)	(0.1pt)		
完成工事総利益	9,410	11,148	▲ 1,737	▲ 15.6%	
兼業事業総利益	6,639	4,727	1,912	40.4%	
販売費及び一般管理費	8,445	8,522	▲ 76	▲ 0.9%	
営業利益	7,604	7,353	250	3.4%	6,000
(営業利益率)	(8.5%)	(8.3%)	(0.2pt)		(6.7%)
経常利益	7,653	7,323	329	4.5%	6,000
(経常利益率)	(8.6%)	(8.3%)	(0.3pt)		(6.7%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	5,096	4,666	430	9.2%	4,000
(当期純利益率)	(5.7%)	(5.3%)	(0.4pt)		(4.4%)

#### 【H29年3月期】

- ▶ 平成29年3月期（当期）は、建設事業は耐震補強工事が減少したことから減収となったものの、兼業事業が自社開発の大規模工業団地の一部を販売したことや、分譲マンションの引渡戸数が増加したことから大幅な増収となり、売上高全体は前期実績を上回りました。
- ▶ 一方、利益につきましては、建設事業は減収に伴い減益となったものの、兼業事業が増収に伴い大幅な増益となったことから、営業利益、経常利益、当期純利益の各利益段階において、4期連続で過去最高益を更新しました。

## 【H30年3月期通期予想】

- 平成30年3月期（来期）は「中期経営計画（2015～2017年度）」の最終年度であり、数値目標の売上高900億円程度、営業利益60億円程度、自己資本当期純利益率（ROE）8%以上を達成する見込みです。
- 売上高につきましては、建設事業が、一般建築工事及び土木工事の施工が順調に進捗し増収となり、兼業事業の大規模工業団地等の売上減少分をカバーすることから、売上高全体としては当期実績とほぼ同水準となる見込みです。
- 一方、利益につきましては、兼業事業の減収に伴い、過去最高益となった当期に比べると各利益段階で減益となる見込みです。

## Ⅱ. 事業別の概況

### 1. 建設事業

- 当社グループは、耐震補強市場が縮小することを見据え、限られた経営資源の中で利益を最大化すべく、生産性の高い大型の一般建築・土木工事への取り組みを強化することで、収益構造の転換を図ってまいりました。
- 今後は、これまで開発案件や設計・施工案件等で培ったノウハウを活かし、大型案件への対応力強化や施工の省力化・合理化等、生産性の向上を図ることで、更なる事業規模の拡大と収益の確保に注力してまいります。
- また、長時間労働の是正や安全で快適な就労環境の整備等、建設業が抱える構造的な課題の解決に向け、職員のみならず協力会社も含めワークライフマネジメントを推進することで、技術者・技能労働者の確保等にも取り組んでまいります。

#### 1-1. 建築工事

##### □ 受注高及び売上高の状況

（単位：百万円）

	H29.3実績	H28.3実績	増減額	増減率
連結受注高	47,851	50,546	▲ 2,694	▲ 5.3%
一般建築工事	42,831	39,122	3,709	9.5%
耐震補強工事	5,020	11,424	▲ 6,404	▲ 56.1%
連結売上高	47,930	50,643	▲ 2,713	▲ 5.4%
一般建築工事	42,113	38,922	3,191	8.2%
耐震補強工事	5,817	11,721	▲ 5,904	▲ 50.4%

#### ① 一般建築工事

- 一般建築工事では、商業施設等の大型案件を受注したことにより、受注高は前期実績を上回りました。売上高も、物流施設等の施工が順調に進捗したことから、前期実績を上回りました。
- 今後も、安全・品質の更なる向上は勿論のこと、建築に関する多様な顧客ニーズに応えるべく技術のラインナップを拡充し、生産性の高い大型案件を中心に受注の拡大に繋げてまいります。

## ② 耐震補強工事

### □ ピタコラム事業の実績

(単位:百万円)

	H29.3実績	H28.3実績	増減額	増減率
連結受注高	4,574	11,075	▲ 6,501	▲58.7%
連結売上高	5,333	11,324	▲ 5,991	▲52.9%

- ▶ ピタコラム事業では、公立小中学校の耐震化がほぼ完了したことから、受注高・売上高ともに前期実績を下回りました。
- ▶ 今後は、庁舎・官舎等の公共施設や、民間マンション、ホテル等を中心に、これまでに培った営業・施工のネットワークを活用し、営業展開を図ってまいります。

## 1-2. 土木工事

### □ 受注高及び売上高の状況

(単位:百万円)

	H29.3実績	H28.3実績	増減額	増減率
連結受注高	30,454	21,955	8,498	38.7%
連結売上高	20,758	20,448	310	1.5%

- ▶ 土木工事では、リニア中央新幹線のトンネル工事等を受注したことにより、受注高は前期実績を大幅に上回りました。売上高も、民間の造成工事等の施工が順調に進捗したことから、前期実績を上回りました。
- ▶ 今後は、エネルギー関連・維持補修等の新たな分野への取り組みを一層強化し、事業の拡大を図るとともに、これまで造成工事等で導入実績のあるICT（情報通信技術）を用いた設計・施工のノウハウを活かし、現場の省力化・効率化にも注力してまいります。

## 2. 兼業事業

- 兼業事業では、分譲マンション事業や工業団地や商業施設等の開発事業に加え、賃貸事業の強化や仲介・販売代理等の流通事業に注力することで、収益の安定化を図っております。
- また、名古屋市港区金城ふ頭の「レゴランド」の隣接地において、「モノやコトをつくる喜び」をコンセプトに、当社グループで開発を進めておりました複合商業施設「Maker's Pier（メイカーズピア）」が本年3月にオープンし、当該エリアの賑わい創出に寄与しております。
- 今後、このプロジェクトで得たネットワークやノウハウを活かし、東海エリアを中心に地域の発展と活性化に貢献できる事業を展開してまいります。

### □ 売上高の状況

(単位:百万円)

	H29.3実績	H28.3実績	増減額	増減率
連結売上高	20,574	17,666	2,907	16.5%

- 兼業事業では、自社開発の大規模工業団地の一部を販売したことに加え、分譲マンションの引渡戸数が増加したことにより、売上高は前期実績を大幅に上回りました。

### ① 分譲マンション事業

#### □ 分譲マンションの実績

(当社持分)

販売戸数	H29.3実績	H28.3実績	増減
契約戸数	237戸	328戸	▲91戸
引渡戸数	305戸	257戸	48戸

- 分譲マンション事業では、名古屋市近郊の大型物件が完成引渡しを迎えたこと等により、引渡戸数は前期実績を上回りました。
- 建設コストの高止まりや地価の上昇により厳しい販売環境が続く中、当社グループは適正価格での用地取得の徹底と、実需に基づいた商品企画を行うことで、顧客満足度の向上と収益確保の両立を図ってまいります。

### Ⅲ. 連結財政状態について

#### □ 連結貸借対照表

(単位:百万円)

資産の部		H29.3実績	H28.3実績	増減
流動資産	現金預金	13,366	11,934	1,431
	売上債権	33,564	25,425	8,138
	未成工事支出金	2,702	4,623	▲ 1,920
	販売用不動産	15,078	17,872	▲ 2,793
	その他	1,958	1,291	667
	合計	66,670	61,147	5,522
固定資産	有形固定資産	24,179	22,760	1,418
	無形固定資産	255	254	1
	投資その他の資産	6,481	5,965	515
	合計	30,916	28,980	1,935
資産合計	97,586	90,129	7,456	

負債の部		H29.3実績	H28.3実績	増減
流動負債	支払手形・工事未払金等	21,306	15,599	5,706
	短期借入金	8,456	10,473	▲ 2,017
	1年内償還予定の社債	—	160	▲ 160
	その他	9,485	7,928	1,557
	合計	39,248	34,162	5,086
固定負債	長期借入金	6,607	8,613	▲ 2,006
	その他	9,862	9,873	▲ 11
負債合計	55,718	52,649	3,069	
純資産	41,868	37,480	4,387	
負債・純資産合計	97,586	90,129	7,456	

#### □ 主要経営指標

	H29.3実績	H28.3実績	増減
総資産経常利益率(ROA)	8.2%	8.2%	0.0pt
自己資本当期純利益率(ROE)	12.8%	12.9%	▲0.1pt
1株当たり当期純利益(EPS)	117.43円	107.51円	9.92円
自己資本比率	42.9%	41.6%	1.3pt

- ▶ 当期は、大型の一般建築工事の施工が進捗したことにより、売上債権が約81億円増加した一方で、大規模工業団地や分譲マンションの販売により販売用不動産が約28億円減少し、現金預金が約14億円増加したことから、総資産は前期末に比べ約75億円増加しました。
- ▶ 一方、純資産は、当期純利益の計上等により約44億円増加したことから、自己資本比率は前期末に比べ1.3ポイント上昇の42.9%となり過去最高を更新し、自己資本当期純利益率(ROE)についても前期に引き続き12%台を保持しました。
- ▶ また、営業活動により獲得した約87億円のキャッシュ・フローをもとに有利子負債を約42億円削減したことにより、財務健全性が一層向上しております。

以上